

平成29年度

岡山大学大学院保健学研究科

博士学位申請論文

内容要旨

看護学分野

齋藤 信也 教授 指導

73422401

福川 京子

平成29年6月提出

内 容 目 次

主 論 文

保健師による「活動の対象とめざす成果」の記述の実態

福川京子、岡本玲子、小出恵子

日本公衆衛生雑誌 64(2) 61-69 2017

主 論 文

保健師による「活動の対象とめざす成果」の記述の実態

[緒言]

保健師は、多様で複雑な健康課題を解決するために、健康課題の明確化から計画、実施、評価に至る活動を適切かつ系統的に展開する。その中で、地域の住民や関係者の理解や協力を得るために、どんな対象に、どんな良い結果をもたらすことをめざす活動なのか、つまり、活動の対象とめざす成果を明確に記述し、説明することは非常に重要なことである。先行研究では、保健師の既出の活動計画書や評価において、目標の記述に課題があることが報告されているが、保健師が日頃の業務について活動の対象とめざす成果の説明を求められた時に、実際にどのように記述するのかという実態を調査した研究は見当たらない。

本研究の目的は、保健師に活動の対象とめざす成果の記述を求め、活動計画等の説明に必要な要素の有無と記述内容の実態を検討することである。これによって、保健師が業務および活動の目的や目標を明確に記述し、説明するための示唆が得られると考えた。

[方法]

研究デザインは記述研究である。対象は、全国の自治体より無作為抽出した施設の常勤保健師、調査方法は自記式質問紙調査、調査期間は平成 22 年 11～12 月、調査内容は属性（年齢、保健師経験年数：以下経験年数、所属の設置主体：以下所属、役職）、「活動の対象とめざす成果」の記述であり、その記述は構文完成型設問を設けて収集した。設問は、日頃の担当業務や地区活動において、「私は保健師として[記述欄Ⅰ：どんな対象に]、[記述欄Ⅱ：どんな良い結果をもたらす]ことをめざして仕事をしているか」であった。記述欄の前には、具体的な 2 つの記述例を示し、保健師の実務に関連のない領域を扱うことによって、調査対象が例文の内容に影響されずに、構文完成に必要な要素を自分で考え、記述できるよう考慮した。記述例 1 は「私は警察官として[担当地域において][5 年後、万引き発生件数をゼロにする]ことをめざして仕事をしている」、記入例 2 は「私は教員として[本学 4 年生の] [国家試験合格率を、毎年 100%にする]ことをめざして仕事をしている」である。これらの例文は、構文の要素として、記述欄Ⅰに①活動の対象、記述欄Ⅱにはめざす成果の、②成果の内容、③時間、④程度を含む内容とした。設問と記述例の設定の妥当性を確保するため、著者らの他、公衆衛生看護学を専門とする研究者と検討した。分析方法は、各要素の有無別の人数分布と記述内容、一連の記述内での要素の「記述あり」を合計した要素数（要素数 4、要素数 3、要素数 2、要素数 1、要素数 0）別の人数分布、要素数と属性（保健師経験年数、所属）との統計的関連を確認した。各要素の記述内容は、類似する意味毎に分類し、分析した。

倫理的配慮として、筆頭研究者が所属する大学倫理審査委員会の承認を得て実施した

(承認番号 T10-06)。対象には、研究の目的と意義及び倫理的配慮を記載した依頼文を用い、調査票の返送をもって同意とみなすことを明示した。

[結果]

調査票配布数 1,615、回収数 1,088 (67.4%)、有効回答数 961 (59.5%) であった。

活動の対象の要素の「記述あり」は 778 (81.0%) であり、記述内容は「担当地区・自治体」、「事業・対策の対象者や属性」である特定健診対象者、結核患者、精神障害者、高齢者、乳幼児、子育て家庭などが大部分を占めていた。「記述なし」では「不特定な対象」である住民、地域や、働きかける対象ではない「自分自身や業務名等」を表していた。成果の内容の要素の「記述あり」は 58.8% であり、記述内容は「健康指標の向上」に関する死亡率、罹患率、介護認定率、健康寿命や、「行動変容」に関する健診受診率、喫煙率、教室や組織活動の参加数、「認知・知識等の向上」に関する「育児不安、障害者理解、健康意識、病気の知識」などであり、住民に対する成果が大部分を占めた。「記述なし」の場合、「何が」がなく「どうなる」のみの記述である「健康で生活できる、安心して育児ができる、元気で暮らせる町」、「自分自身の活動内容や状態」である「健康課題の把握、未受診者の把握、家庭訪問の実施、気軽に相談してもらえる」などが大部分を占めていた。時間の要素の「記述あり」は 33 (3.4%) であり、記述内容は「期間」である「H23 年度、5 年後、3 ヶ月後」や、「期間」である「毎年、年間」などであった。程度の要素の「記述あり」は 178 (18.5%) であり、記述内容は「全・無の率・割合・数」である「100%、0 件、ゼロ」や、「特定の率・割合・数」である「50%、2 割、1 割以上、20%→30%に、300 人、3 kg、1 年」などであった。

記述内の要素数別の人数分布では、要素数 4 が最も少なく 2.4% であった。要素数 3 は 15.6% であり、最も多い要素の組み合わせは、活動の対象・成果の内容・程度であった。要素数 2 は 33.8% であり、最も多い組み合わせは、活動の対象・成果の内容であった。要素数 1 は 37.7% であり、最も多かったのは活動の対象のみであった。要素数 0 は 10.5% であった。記述内の要素数と属性分布との関連において、要素数 4 の経験年数の中央値が 22 と最も高く、要素数 0 は 15 と最も低かった。所属別では、要素数 4 の割合が最も高かったのは都道府県の 3.8%、要素数 0 の割合が最も高かったのは市町村の 12.0% であった。経験年数との相関比および所属別での連関係数はいずれも 0.1 未満であった。

[考察]

活動の対象の要素は、大部分の保健師において特定の属性や範囲の記述があった。その理由は、担当する地区や業務の枠組みから対象を特定することが容易であったためと考えられる。成果の内容の要素は活動の対象の要素の割合より低かった。「記述あり」では、健康指標や行動変容等に関する具体的な健康課題等が記述されていたが、「記述なし」では、抽象的な内容や自分自身の活動内容や状態を表すものであった。すなわち、保健師が活動の対象を特定していても、成果の内容の記述では健康課題等が不明確であ

ることや、保健師の活動実績目標の表現になる場合があることが示唆された。その理由として、保健師には、健康課題の明確化に必要な技術と時間の確保の問題や、担当業務の遂行に追われている現状があることなどが考えられ、改善策の検討が急がれる。時間の要素の記述はとりわけ少なかった。記述内容は期限や期間を表しており、保健師がめざす成果の達成に向けた計画および評価計画に基づいて業務や活動に取り組んでいることが推察される一方、多くの保健師がそのような状況にない実態が危惧された。その理由として、直面する健康課題等の解決や改善の予測が困難であるだけでなく、保健師の活動過程において、住民・関係者と健康課題を共有し取組の理解を進める計画前の段階であれば時間の要素の設定に至っていない場合や、所属組織の地方計画や公衆衛生関連の計画が具体的な方針として共有できていない場合も考えられる。時間の要素の記述の課題は、保健師と所属組織の両者の背景要因を踏まえて検討する余地がある。程度の要素の記述も極めて少なく、保健師が数値を用いて目標や成果を記述することに課題がある可能性が示唆された。ただし、保健師の活動は、個別事例および小集団への支援および新たな健康課題等への介入、革新的で複雑なプログラムの開始の直後など、対象の認知や状態を定性的に分析し、評価する方が適するものを含んでおり、本調査で保健師が取り上げた内容がこれらに該当していた可能性もある。以上のことから、今後、活動の対象とめざす成果の記述過程と背景要因を含めた詳細な調査を重ねる必要がある。

また、記述内の要素数が減少するにつれ、主に時間、程度、成果の内容、活動の対象の要素の順に欠落する傾向がみられ、要素数4に該当する保健師はわずかであるという実態が明らかになった。要素数4の保健師は経験年数が最も長く、都道府県での割合が高い傾向がみられた。活動の対象とめざす成果の記述に必要と考えられる地域診断や疫学的な判断、評価計画等の技術は中堅保健師であっても困難度が高いという先行研究があり、継続的な研鑽が必要といえる。また、都道府県保健所と市町村との連携が協働による計画策定推進の成功事例や、保健所との連携が希薄な市町村は母子保健統計情報の定期的なまとめができていないという報告がある。都道府県の保健師は、市町村の保健師とともに活動の対象とめざす成果を明確にできるよう、管内の情報共有および活用に関する協力体制がどのようになっているかを再確認する余地があるといえる。職場内では、計画立案の過程で目的や目標が適切に記述できるような手順や記録様式の整備、上司からの指導や職場全体、関係者と吟味できる仕組みの構築が必要である。

[結論]

保健師による活動の対象とめざす成果の記述において、構文の要素を全て含むものはわずかであり、とりわけ時間および程度の要素の記述が少なかった。要素の記述がない場合、抽象的あるいは保健師活動実績を表す内容が多かった。保健師には、対象の具体的な健康課題等の成果の内容と、とりわけその達成時期および数量的な程度を記述することに課題がある可能性が示唆された。